

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年12月6日 第36報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanizomenon sp.*</i>	10		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	8		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	50		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	20		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	140		
(褐) <i>Rhodomonas lens</i>	20		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	100		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	80		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	16		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	6		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	140		
(藍) 藍藻綱	10	1.6	1.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	20	3.2	1.1
(珪) 珪藻綱	98	15.6	0.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	260	41.3	5.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	242	38.4	91.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	630	総体積	5.0E+06
種 類 数	14	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

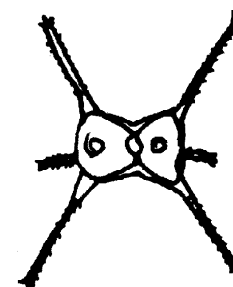
動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	300

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Tintinnopsis cratera</i>	160

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



***Staurastrum dorsidentiferum*
*var. ornatum***
(スタウラスツルム)
緑藻綱

ツツミモの仲間に属する大型のプランクトンで、細胞の中間がくびれている。横からみると、4本の腕が出ているように見える。上からみると3本の腕が出ているように見える。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント:

植物プランクトンは、褐色鞭毛藻のクリプトモナスと緑藻のスタウラスツルムが共に140細胞/mlで多かった。しかし、体積でみると前者が約1,700 μm^3 に対し、後者は約32,000 μm^3 と約19倍の差が認められた。このスタウラスツルムは琵琶湖では毎年秋に多くみられる種類である。動物プランクトンは先週に引き続きハネウデムシが最も多かった。